日本最大級の化粧品専門展「[国際] エステ・美容医療 EXPO」にて基調講演

「10 年後を見据え勝ち残るエステとは ~多様化するエステニーズとアフターコロナ戦略~」

スリムビューティハウス取締役 金田 有加

2022 年 1 月 12 日、東京ビッグサイトで開催の「**[国際] エステ・美容医療 EXPO**」にて、**株式会社スリムビューティハウス(本社:東京都港区、代表取締役・西坂才子)取締役・金田 有加が基調講演を**致しました。当日は、予定来場人数を上回る大勢の方にお集まりいただきました。

https://reed-speaker.jp/Seminar/2022cosme/top/

基調講演内容

テーマ: 「10年後を見据え勝ち残るエステとは

~多様化するエステニーズとアフターコロナ戦略~」

概要: コロナ禍による影響に加え、異業種参入による競争激化や、代替品の脅威にさらされる中、今後エステティックが取るべき施策を同社の事例と外部データを用いて紹介。同時に、Forbes JAPAN WOMEN AWARD 2021 を受賞した、スリムビューティハウスの優秀な女性を活かす取り組みを紹介する。



1. スリムビューティハウスのミッションと会社紹介

同社のミッションは「**健康美の追求**」。東洋美容のオリエンタルエステとして、長年の研修発表を通じて、エステティックが外見の美だけでなく、心や体、幸福や癒しにも効果をもたらすことを科学的に証明。経済産業省主催のイベントや寄付活動を通じて、エステティックという仕事の魅力と社会的認知の向上に尽力する。



2. コロナ禍で見えたエステティックの可能性

コロナ禍の試行錯誤の中から生まれた、エステティックサロンの新たな可能性を示唆するオフライン×オンラインの取組事例を紹介。また、健康投資に対する意欲の高まりから、エステティックはビューティ&ウェルネス 5.8 兆円の市場として成長を続けることをデータに基づき考察。

3.勝ち残るエステティックがとるべき戦略

お客様と信頼関係を築けるエステティシャンの育成と投資が鍵。満足度調査アンケートや社内制度の定期的な配信、年間表彰を通じて、意欲ある女性がやりがいをもって働ける組織風土を実現させた結果、同社は、管理職の25%がワーキングマザー。さらにブランドライセンス事業や海外展開、企業向けサービスの展開など、エステティックの強みを生かしながら、環境や状況に合わせしなやかに変化を続け、100年企業を目指す。

登壇者プロフィール

株式会社スリムビューティハウス、取締役 金田 有加(かなだ ゆか) AEA/ajesthe 認定エステティシャン

上智大学を卒業後、慶應義塾大学大学院にて修士課程を修了、MBA(経営学修士) 取得。上海復旦大学経営管理学院に留学。 現在は同社経営企画室にて海外事業と通 販事業を主に担当。



株式会社スリムビューティハウスについて

2021 年に創業 42 周年を迎え、国内外に約 60 店舗のエステサロンおよびエステスクールを運営。外部機関や医師と共同研究を行い、世界中の学会で発表を行う。2015 年には、ハーバード大学公衆衛生大学院日米未病プロジェクトチーム首席研究員天野暁先生と「抗加齢・抗酸化ストレスへの影響」について共同研究を実施、医学誌に掲載される。東日本大震災における、日本赤十字社を通じた支援活動が認められ、「金色有功賞」「紺綬褒章」を拝受。2019 年には名誉会員に認定される。 2021 年には、健康経営宣言を実施。一般社団法人日本SDGs 協会より 3 つの『SDGs 事業認定証』の発行を受ける。最も女性が活躍する会社として「Forbes JAPAN WOMEN AWARD 2021」受賞。

会社概要

会社名:株式会社スリムビューティハウス

所在地:東京都港区新橋6-4-9 北海ビル新橋3F

代表者: 西坂 才子 設立: 1986 年

URL: https://slim.co.jp/company/profile/







「[国際] エステ・美容医療 EXPO」詳細

日本国内だけでなく世界各国の化粧品が一堂に出展する日本最大の化粧品専門展。日本および海外の小売店・通販・サロン・商社の仕入れバイヤー・ディーラーが多数来場、最新コスメの仕入れに関する打合せが活発に行われる国際商談展です。(出典:https://forbesjapan.com/womenaward/)

【本リリースに関する報道お問い合わせ先】

株式会社スリムビューティハウス広報部・池本

TEL: 03-3486-3636 (平日 9:00-18:00)

080-1387-1360

e-mail: ikemoto-aki@slim.co.jp

